

●平成23年度 第11回藤岡地域会議 会議録●

【日 時】平成24年 1月31日（火）午後7時～午後9時

【場 所】藤岡支所 西庁舎2階 第2・3会議室

【出席者】〈委員17名〉

生田 数三・加藤 孔也・澤田 恵雄・澤野 明・杉山 賢太郎・鈴木 和好・
田口 光政・永井 克己・長田 卓以・中山 恵理奈・南郷 愛子・法島 準子・
堀部 英二・眞坂 貢・三根 政文・山内 一美・山口 時雄

〈事務局5名〉

大谷 哲也（藤岡支所長）・小副川 辰夫（主幹）・浦野 貴之（係長）・
兵藤 隆裕（主査）・吉田 鋭次（特任）

〈傍聴人2名〉

伊井 房夫（市議）・宇野 俊江（藤岡交流館主任主事）

【次 第】1 「豊田市民の誓い」唱和

2 藤岡地域会議会長あいさつ

3 事務連絡

（1）会議報告（藤岡観光交流推進連絡会議）

（2）平成23年度わくわく事業の視察報告について

（3）今後の開催予定

4 議事

（1）平成24年度の地域会議開催スケジュールについて

（2）「地域づくり活動報告会2012 in ふじおか」について

（3）藤岡地区まちづくり構想（ビジョン）づくりについて

.....
【内 容】

1 「豊田市民の誓い」唱和

2 藤岡地域会議会長あいさつ

先日新しい市長が決まりました。地域会議やわくわく事業について、より良いものになるよう新市長の舵取りに期待をしています。今日はビジョンづくりについてグループワークも予定しております。円滑に会議が進むよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

ー伊井議員あいさつー

3 事務連絡（要旨）

（1）会議報告（藤岡観光交流推進連絡会議）

（田口委員）12月22日（火）午後2時から、平成23年度第2回藤岡観光交流推進連絡会議を開催し、今年度の観光事業についての振り返りを行いました。また平成24年度の観光事業の日程が決まりましたので報告します。ふじまつりは5月3～6日、ふじおかおいでん夏まつりは7月7日、ふじおか紅葉まつりは11月23～25日となりました。

(資料に基づき説明)

(委員からの意見、質問事項なし)

(2) 平成23年度わくわく事業の視察報告について

(委員) 1月22日の石畳地区もちつき大会、藤岡南地区わくわく事業の大池マレットゴルフ場建設事業について、プロジェクターで映しますので、ご覧ください。

(3) 今後の開催予定

(事務局) 第12回地域会議を2月28日(火)午後7時から、また第13回地域会議を3月6日(火)午後7時から、藤岡支所で行います。

4 議事(要旨)

(1) 平成24年度の地域会議開催スケジュールについて

(事務局) 今年度の地域会議は、藤岡が毎月最終火曜日、藤岡南は毎月最終木曜日に開催しておりましたが、来年度の地域会議は、藤岡地域会議を原則毎月最終木曜日に、藤岡南地域会議を毎月最終火曜日に開催します。

ただし、4・5月はわくわく事業の審査などで変則的な日程となります。第1回地域会議は4月12日(木)午後7時から、第2回地域会議は5月9日(水)、わくわく事業の書類審査は長時間の審議が予想されますので、午後6時開始とします。そして、第3回地域会議(わくわく事業公開審査会)は、5月12日(土)藤岡交流館で午前9時から予定しています。

最後に、年度最後の活動報告会は、藤岡地域会議と藤岡南地域会議別々で開催することとし、3月16日(土)とします。

(資料に基づき説明)

(委員からの意見・質問なし)

(2) 「地域づくり活動報告会2012 in ふじおか」について

(事務局) 地域づくり活動報告会の概要について説明します。日時・場所は前回お伝えしましたとおり、3月17日(土)午後1時から4時30分まで、藤岡交流館で開催します。

委員の皆さんには、準備の関係で正午に現地集合をお願いします。

当日のプログラムですが、資料のとおりで、第1部は地域会議を含む団体からの活動報告、第2部はわくわく事業からの報告です。御作小学校からも報告していただけるとの返事をいただきましたので、20分の枠をお願いしたところです。

次に会場レイアウトですが、委員の人数も増えたこともあり資料のとおりとしましたのでご確認ください。各地域会議委員の中から、受付係を3名ずつ、会場後方の展示パネル説明係として3名ずつ選出していただいて、当日お願いしたいと思います。

そして地域会議からの報告ですが、まず先の藤岡地域会議からの報告の中で、今年地域会議が分離したこと、地域会議の役割、今年の新しい地域予算提案事業「安全で快適な歩行空間づくり事業」と来年度の新規事業「緑と人の集うまちづくり事業」について報告します。藤岡南地域会議からの報告では、来年度の新規事業「災害時の自助・共助力向上事

業」と、ふたつの合同事業「ふじのあるまちづくり事業」「健康づくり事業」について報告します。また最後に、現在取り組んでいる、藤岡南地区まちづくり構想（ビジョン）について、今までの経緯とある程度の方向性が示せれば良いと思っています。

(資料に基づき説明)

(会長) まず受付係3名、展示パネル説明係3名を決めたいと思いますが、どなたか意見はありますか。

(委員) 会長一任でお願いします。

(会長) では、受付係は中山委員、南郷委員、法島委員、展示パネル説明係は加藤委員、田口委員、眞坂委員でよろしいか。

(委員からの異議なし)

(会長) では選ばれた6名はよろしくお願いします。続いて、藤岡地域会議の発表についてご意見があればよろしくお願いします。

(委員からの意見・質問なし)

(会長) では発表内容は案のとおりとし、事務局に素案を作っていただくこととします。

(3) 藤岡地区まちづくり構想（ビジョン）づくりについて

(事務局) 今回の地域会議からビジョンづくりについて取り組んでいくこととなりますので、まずビジョンづくりの流れについて事務局より説明します。

大きな流れとしては、まず藤岡地区の課題や問題点の抽出を行い、それらを防犯、防災、教育、高齢化、観光、コミュニティなどといった似たもの同士でグループ分けします。ただし、この時点では出てきた課題に対する取組や事業については、まだ議論しません。そしてグループ分けしたものをさらに大きなテーマでまとめ、ビジョンの柱、例えば3本柱を作ります。その後、決めたテーマに合う形で、藤岡地区が目指すまちの将来像を示す基本理念、キャッチコピーを考えていきます。ここまでが「1 理想の見える化」の部分になります。

そして次に、「2 取組内容の整理」ということで、出てきた課題に対する取組内容の検討をはじめ、スケジュール化したものをもって、ビジョン案を作成し、地元住民との意見交換を経てビジョン策定となります。ちなみにビジョンのイメージということで、次のページにこんな感じのものができれば良いというものを付けてあります。

このためにも一番大事なのは、藤岡の課題をどれだけ出せるか、つまりどれだけ藤岡のことを知っているのかということだと思いますので、「1 理想の見える化」の「①地域課題、地域の特性・魅力のリストアップ」を特に時間をかけたいと思います。

そこで今日は、さっそく「①地域課題、地域の特性・魅力のリストアップ」を、3グループにわかれて、取り組んでいただきます。グループの全員が発表し終わったら、グループ毎で「②出てきた意見のグループ分け」を行い、最後にグループの代表に発表していただきます。グループ分けについては、皆さんに一任しますので、8時40分にはグループの報告ができるようによろしく願いいたします。

(資料に基づき説明)

(会長) 第8回と第9回の時にも意見交換していただいておりますが、今回は3つのグループに分かれていただき、資料4の「①地域課題、地域の特性・魅力のリストアップ」を行

っていただき、最後に出していただいたものを項目別に発表していただきます。

第1グループの発表（澤田、生田、加藤、澤野、杉山、鈴木）

【イベント、環境整備】

- ・ 最近、藤岡町時代のイベントや伝統行事が少なくなっている。活性化のためにも、伝統行事を調査して藤岡全体で実施する。
- ・ 戸越峠から川口までの道路を整備して、マラソン大会などを開催する。
- ・ 観光客の増員方策が必要。観光史跡等のPR、看板等の整備。地域を巻き込んだ計画が少ない。
- ・ 歩道やガードレールを利用してふじ棚を作り、歩道がそのままふじの回廊となるように計画する。そして、日本一のふじの回廊としてPRする。
- ・ 公園や運動場が少ない。体育施設の整備を。自転車で地域内を安全に走行できるサイクリングロードがほしい。
- ・ 矢作川沿いで誰もが安全に川遊びができるような場所を整備して、自然を体験できる地域づくりが必要。
- ・ エコ問題（環境）については市全体で取り組んでいる。藤岡地区内での可能性のあるエコを模索できないか。

【足湯】

- ・ 足湯のままではもったいない。ぜひ温浴施設にしたい。
- ・ 紅葉まつり等ではもう少し宣伝を行い、人を集める工夫が欲しい。
- ・ 温泉をもっと活用できるように考えたい。湯をパイプラインで飯野まで引き、飯野で温浴施設を設ける。

【支所整備】

- ・ 支所は人が集まってくるところであって欲しい。支所内に、サロンや自由に出入りできるような場所があると良い。
- ・ 支所と交流館を一体化したコミセンの早期着工、完成を望む。
- ・ 飯野川沿いには散策道を整備するとともに、川には鯉を泳がせるなり風流な雰囲気をもたせようとする計画が必要。

【商業施設】

- ・ 買物、飲食等をするのにも、藤岡地区外へ出かけなければならない。ショッピングセンターがあれば、人が集まってきて、ふれあう機会もできる。
- ・ 藤岡には特徴のある産物が無い。富士の宮焼きそばに負けないお土産やB級グルメを一緒に考えてほしい。
- ・ 飯野地内に、ライフラインが100%に近い形で手に入るような店舗や市街地を形成する。また、若者が和服姿で歩いてさまになる和の雰囲気のある飯野のまちづくりができないか。
- ・ 若者を引き止めるには、店舗や工場が必要である。
- ・ 藤岡地区に電車の乗り入れを計画し、大学の誘致を進めたらどうか。

【防犯】

- ・ 藤岡地区内での犯罪はこれからも増加する。南部地区にも交番、駐在所の新設を望む。

- ・ 講習会を開催したり、防犯グッズのPRをすることが大切である。

【交通関係】

- ・ 東海環状が完成し便利になったが、インターまでのアクセスが極めて悪い。朝夕のラッシュ解消のためにも、国道419号のバイパス開通を願う。
- ・ 豊田藤岡ICから中津川方面へ高規格道路の建設を望む。
- ・ 国道419号の歩道整備や渋滞解消対策が必要。バイパスの検討の一つとして、山林道路の建設を進めれば森林の開発にもつながる。
- ・ 車を使用せずに、全地域に自由に移動できるような交通システムの構築が必要。

【通学路】

- ・ 通学路では歩道と自転車を区別し、安全面の確保ができるとうい。
- ・ 通学路の点検を学校サイドのみでなく、地区住民も含めて実施する。また、支障木などがあれば伐採作業も一緒に行う。

【地域会議】

- ・ 地域会議委員は全員公募で行い、意欲のある人が育つような仕組みを考えたらどうか。

【その他】

- ・ 日本一若い町もやがて高齢化を迎える。今から特養の誘致を考えるべきである。
- ・ 高齢化が進みつつある中、高齢者が楽しく行える事業を起こすと良い。
- ・ 笑顔で誰とでもあいさつできる笑顔運動を全住民に周知し、意識向上を図る。
- ・ 藤岡も各家庭が孤立化傾向にあり、地域での交流を図るような施策を考えるべきである。
- ・ 南中学校の開校に伴い、藤岡地区が二分する傾向にある。いろいろな活動を行うにあたっては、時には一体となって取り組む必要性を強く感じる。
- ・ 飯野こども園の土手に大看板を設け、藤岡地区ビジョンを掲げる。

第2グループの発表（田口、長田、中山、南郷、法島、堀部）

【観光、産業】

- ・ インターを下りたらすぐに藤岡と分かるように「ふじ」を活かした取り組みを。また、矢作川の環境整備を行い、すばらしい資源を活用して観光に力を入れたらどうか。
- ・ 自然に恵まれた環境があるにもかかわらず、PR不足や整備不足で外部からの人の訪れが無い。
- ・ 地域の産業を知ってもらうためにも、もっとPRしたほうが良い。
- ・ 藤岡名物の食べ物が無い。
- ・ 「ふじのある町づくり」が遅れている。

【人づくり、町づくり】

- ・ 石畳温泉は足湯だけでは続かない。そこにプラスアルファがあれば人は集う。
- ・ 地域によっては閉鎖的である。いろいろな人を巻き込んで町づくりを先導するリーダーが必要だ。
- ・ 若い人も高齢者も一緒に集えるイベントを開催したらどうか。年に一度、誰でも参加できる単純な記録会があれば良い。
- ・ 町づくりを進めるにあたっては、住民が興味を持てるようにアピールすべきだ。

- ・ 町の環境を良くするために、町中のごみを拾う。
- ・ 日常生活ができる商店があると良い。買物ができる場所が無く、藤岡地区はお金が回らないところ。
- ・ 若い人達が定住できる町づくりが必要。

【交通、道路】

- ・ 通学路の整備が遅れているので、子どもたちの安全面に問題である。みどり線は良いが安全でない。
- ・ 県道の道路整備が遅れており、危険箇所が多い。
- ・ 国道419号が不通になった場合はどうなるか。
- ・ 交通の便が悪い。また、高齢者にとって地域バスは大きな足となるはずだが、片道200円の負担は大きい。バス停以外でも乗り降りできる仕組みの検討を。
- ・ 老人用で病院までの交通手段が確保されると良い。
- ・ 飯野交差点の朝の渋滞はひどい。道路整備が必要である。

【コミュニティ】

- ・ 自治区ごとにばらばらの町づくりをしているので、全体が良くなっていかない。
- ・ 自治区によって異なる壁があり、地域の連携が進んでいない。
- ・ 区によって世帯数が違いすぎる。
- ・ 若い人達は藤岡に住むことに魅力を感じていない。他の地区で家を建てている。
- ・ わくわく事業を通じて地域が活性化しつつある。但し、差はあるが。
- ・ 北部にはホテルがたくさんいるので、町づくりに活かしたい。
- ・ 近隣の付き合いの場として、住民が気軽に井戸端会議のできる場所があると良い。
- ・ 子どもが行きたがる大きなまつりがあると良い。
- ・ いろいろな特技を持った人がたくさんいるので、活躍の場を考える必要あり。
- ・ 豊かな自然が残っているこの地には、豊かな心を持ち、人情深い人がいる。

【子ども減少、高齢化】

- ・ 子どもの数が減少し、まちに元気が無い。
- ・ 高齢化が進むと、日頃の生活が不安である。自宅近くまで老人用移動車が来てくれるような仕組みができると良い。

【公園施設】

- ・ 公園が無い。自然を活かした公園、子どもが遊べる公園が欲しい。
- ・ 石畳ひろばは、もっと自由に使えるようにすると良い。いろんなことをやりたい人はいる。
- ・ 野球やサッカーグラウンドを多く作り、強いチームを作る。地域の魅力につながり、人を呼ぶこともでき活性化が図れる。
- ・ 川で、安全に遊泳できる場所があると良い。

【防犯、防災】

- ・ 藤岡交番には常に人がおらず、犯罪が発生した時に警察が着てくれるまでに時間がかかるため不安である。
- ・ 避難場所まで遠い人が多いため心配である。
- ・ 災害時に役に立つよう、非常食・AEDの設置場所等の情報をもっと分かるようにし

て欲しい。

- ・ 防災無線の聞こえが悪いため、災害が発生してもすぐには気付かない場合がある。

【文化、郷土、歴史】

- ・ 文化伝統を活かしきれていない。
- ・ 土地の由来とか郷土のことなど良く知っている人がいるので、伝承の機会を設け、地域の歴史を知ってもらうことが大切である。

第3グループの発表（永井、眞坂、三根、山内、山口）

【観光】

- ・ 特産品が無いので、B1 グランプリみたいな企画が必要。
- ・ 人の集まる場所に駐車場、トイレが少ない。
- ・ 観光資源が乏しい。自然が多いのに、活かされていない。
- ・ 石畳温泉には、入浴施設を作るべきと思う。現在行っている出張足湯事業を拡大したらどうか。
- ・ 川遊びのできる場所が無い。
- ・ 温泉が3箇所も出ているのに、ほとんど活用されていない。
- ・ 木瀬の滝をもっと整備し、PRを。
- ・ 支所だより等の行政発信以外に、祭りやイベントの情報を発信・集約する場が無い。
- ・ 藤岡の名物を知らない。
- ・ 地区内で開催されるまつりに、まとまりが無い。
- ・ どこかのイベントで、軽トラック市を開催できると良い。

【防犯、防災】

- ・ 以前、部落放送（防災無線）があった時には、その機器を地域活動連絡用に利用していたので、復活すべきである。
- ・ この地では47・7災害があり、裏山が崩れて命を失った人がいる。今でも危険箇所がたくさんあるので、しっかり調査し改修する必要がある。
- ・ 交番が1箇所しかない。警察組織の充実を望む。

【公共施設】

- ・ 商店が少ない。
- ・ 大きな病院が無い。

【共助】

- ・ 町の時に行っていたような防災訓練が無くなった。大きな災害時には、助け合いが大切である。
- ・ 能力登録台帳を作り、万一に備えると良い。

【子ども】

- ・ 子どもたちの遊び場が少ない。遊具のある公園や運動することができる公園が無い。
- ・ 地域の発展とともに、住民同士のつながりが欠けてきた。将来の子どものためには、地域がしっかりしていることが必要である。子どもを見守る人を増やす。

【道路】

- ・ 国道、県道の左右が、雑木等で汚い。

- ・ 419号に歩道の無いところがある。
- ・ 登校時や下校時において、中学生の自転車が危険である。
- ・ 全体的に道路が狭く、渋滞する。
- ・ 道路沿いのどんぐり等の木が枯れているのが目立ち、見苦しい。
- ・ ダンプカーの往来が多く、過積載の車両を良く見かける。
- ・ ふじバスを利用しにくい。通勤時間にあっていない。夜の便が無い。

【地域会議】

- ・ 委員会における委員の議論強化、区長会における活発な討議を望む。
- ・ 当初ビジョンにある「ふじ色のまちづくり」をしっかりと継承すること。
- ・ 地域予算提案事業は、住民からやりたいことを提案してもらうようにしたらどうか。
- ・ 地域予算提案事業では、高齢者の住みやすいまちづくりを検討したらどうか。
- ・ わくわく事業者と意見交換の場を設け、要望や不満を聞く機会を持つ必要がある。

【その他】

- ・ 小学校対抗の徒競走とか、自転車のレースとか、親子で地区交流することができるイベントが無い。
- ・ 他人とのふれあう場が無い。世代間交流の場が無い。
- ・ 川が草だらけなので、見苦しいし環境面からも好ましくない。

会長の講評

長時間にわたりお疲れ様でした。発表を聞いて、様々な問題があることを再認識しました。3グループに共通して、道路の整備、ふじの植栽が挙げられていました。議員の方々とも協力しながら、これらの問題解決に向けて取り組んでいきたいと思います。

5 藤岡支所長あいさつ

遅くまでグループワークお疲れ様でした。市職員もこのKJ法という手法を使って、課題解決に取り組んでいます。ここで特に気をつけたいのは、他人の意見を否定しないことです。また、ある意見と別の意見をミックスして新しい提案につなげることや、他の人の意見に付け足して別の課題解決に導く方法もありますので、これから進めていく上で参考にしていたいただければと思います。今日はお疲れ様でした。

(終了)